

総合評価方式(工事)の実施状況について

対象工事...平成21年4月～22年1月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項 目	H21.4適用基準				H21.11適用基準			備 考	結 果 (基準改正後の特徴)
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	計		
1. 対象件数(件)	702 (75%)	211 (22%)	27 (3%)	940	164 (89%)	20 (11%)	184		・改正基準の適用工事は184件となっている。 ・改正基準の対象工事は殆どが特別簡易型になっている。
低入札価格調査制度適用	696	194	11	901	164	19	183		
施工体制事前提出方式	6	17	16	39	0	1	1		
2. 落札率(%)									・改正基準の適用工事は平均落札率がやや高くなっている。 ・条件付一般競争入札でも12月以降の平均が高くなる傾向がある。
平均	84.65	84.55	87.00	85.03	85.55	86.34	85.63		
最高	99.93	99.95	97.38	99.95	99.56	97.05	99.56		
最低	75.69	79.15	81.47	75.69	75.08	81.49	75.08		
条件付一般競争入札の平均	(4月～11月の平均)			84.02	(12月～1月の平均)		85.89		
3. 落札率(%) (制度別)									
低入札価格調査制度適用	84.68	86.18	86.39	85.01	85.55	86.46	85.64		
施工体制事前提出方式	83.70	84.60	87.42	85.62	-	82.87	82.87		
4. 入札参加者数(者)									・改正基準の対象工事の入札参加者数が少なくなっている。 ・条件付一般競争入札でも12月以降の平均が少なくなる傾向が見られる。
平均	5.8	5.2	4.6	5.7	4.1	5.7	4.3		
最大	24.0	19.0	16.0	24.0	13.0	21.0	21.0		
最小	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
条件付一般競争入札の平均	(4月～11月の平均)			8.8	(12月～1月の平均)		6.4		
5. 加算点(点)	特別簡易 (20点)	簡易 (35点)	標準 (55点)		特別簡易 (20点)	簡易 (35点)			・特別簡易型、簡易型とも、基準改正による大きな変化は見られない。
平均	11.8	20.1	26.7		12.2	21.2			
最高	20.0	35.0	50.0		20.0	32.5			
最低	0.0	1.5	2.0		0.0	1.5			
6. 価格逆転件数(件)								・価格が1位以外で落札者となった案件。	・基準改正以降、価格逆転件数の割合が減少している。
件 数	429	130	15	574	72	11	83		
逆転件数/試行件数(%)	61.1%	61.6%	55.6%	61.1%	43.9%	55.0%	45.1%		
7. 落札者の状況(件)	702	211	27	940	164	20	184	} (価格逆転件数)	・()加算点が1位の場合の価格逆転件数割合が減少している。
価格:加算点=1位:1位	210 (30%)	67 (32%)	10 (37%)	287 (31%)	80 (49%)	9 (45%)	89 (48%)		
価格:加算点=1位:2位以下	63 (9%)	14 (6%)	2 (7%)	79 (8%)	12 (7%)		12 (7%)		
価格:加算点=2位以下:1位	330 (47%)	105 (50%)	13 (48%)	448 (48%)	60 (37%)	10 (50%)	70 (38%)		
価格、加算点ともに1位以外	99 (14%)	25 (12%)	2 (7%)	126 (13%)	12 (7%)	1 (5%)	13 (7%)		

総合評価方式(工事)の実施状況について

対象工事...平成21年4月～22年1月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準			備考	結果 (基準改正後の特徴)				
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	計						
8. 評価基準価格を下回った件数(件)								・入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。 ・評価基準価格を設定していなかった場合、落札者が逆転する件数及び割合。	・評価基準価格適用件数割合が減少している。				
件数	478	140	17	635	97	13	110						
件数/試行件数(%)	68.1%	66.4%	63.0%	67.6%	59.1%	65.0%	59.8%						
うち落札者逆転	187	30	3	220	37	6	43						
落札者逆転件数/件数(%)	39.1%	21.4%	17.6%	34.6%	38.1%	46.2%	39.1%						
9. 低入札価格調査の対象件数(件)								・低入札対策として配置技術者の複数配置等を義務づけているが、対応困難の場合、落札者決定前の辞退を認めている。	・低入札価格調査対象の発生割合が減少している。				
a	基準を下回った低入札案件				90	25	1			116	12	1	13
a	低入札件数/対象件数(%)				12.9%	12.9%	9.1%			12.9%	7.3%	5.0%	7.1%
a	失格基準該当				54	20	1			75	11	1	12
a	辞退				19	2	0			21	2	0	2
b	低入札調査実施				22	4	0			26	1	0	1
c	低入札調査で失格				0	0	0			0	0	0	0
(b-c)/a	低入札案件の内、契約した件数の割合				24.4%	16.0%	0.0%	22.4%	8.3%	0.0%	7.7%		
10. 失格基準に該当した工事件数(件)													
低入札価格調査制度	54	18	1	73	12	1	13						
施工体制事前提出方式		3		3									
上記合計	54	21	1	76	12	1	13						
上記合計/試行件数(%)	7.7%	10.0%	3.7%	8.1%	7.3%	5.0%	7.1%						
11. 評価項目毎の入札参加者得点割合(%) (配点は簡易型の例(35点満点))								基準改正 (特別簡易型)	・(特別簡易型)施工能力の得点割合は4点の場合が最も高い。				
(1) 企業の技術力	施工能力												
	(簡易・標準1点 過去10年以内の実績) (特別簡易 4点 過去5年以内の実績)				81%	84%	77%			81%	76%	81%	85%
	(特別簡易 3点) (過去5年より前で10年以内の実績)				/					8%	/		
	(特別簡易 1点) (過去10年より前で15年以内の実績)				/			0%	/				

総合評価方式(工事)の実施状況について

対象工事...平成21年4月～22年1月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準			備考	結果 (基準改正後の特徴)	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	計			
(1) 企業の技術力	工事成績 (簡易・標準 1点) (工事成績評定点 80点以上) (特別簡易 4点) (工事成績評定点 90点以上)	64%	66%	58%	64%	3%	68%	65%	基準改正 (特別簡易型)	・(特別簡易型) 工事成績点の 得点割合は3点の 場合が最も高い。
	(特別簡易 3点) (工事成績評定点 80点以上 90点未満)					53%				
	(特別簡易 1点) (工事成績評定点 75点以上 80点未満)					10%				
	優良工事 (簡易・標準 1点) (過去10年度以内の受賞実績) (特別簡易 1点) (過去5年度以内の受賞実績)	10%	20%	23%	12%	8%	7%	12%	基準改正 (特別簡易型)	
	(特別簡易 0.5点) (過去5年度より前で10年度以内の受賞実績)					5%				
	品質管理(0.5点)		75%	79%	75%		86%	86%		
	技術者確保数(0.5点)		86%	79%	86%		86%	86%		
	技能士(0.5点)		5%	7%	5%		5%	5%	上記で得点できない 場合	
	H21小計(4点)								(特別簡易型は9点)	
	(2) 配置技術者の技術力	施工能力(1点)		58%	54%	57%		45%	45%	
工事成績(1点)			35%	24%	34%		20%	20%		
優良工事(1点)			5%	3%	5%		1%	1%		
資格保有年数(0.5点)			60%	65%	61%		65%	65%		
継続教育(0.5点)			4%	1%	4%		6%	6%	上記で得点できない 場合	
H21小計 (3.5点)										
(3) 企業に対する地域社会	障がい者雇用(0.5点)		38%	37%	38%		43%	43%		・年々得点割合 が高くなる傾向が 見られる。 殆どの項目で基 準改正後の得点 割合が上昇して いる。
	安全管理(0.5点)		44%	48%	44%		55%	55%		
	環境配慮(0.5点)		26%	35%	27%		35%	35%		
	県内業者活用(1点)		88%	69%	86%		89%	89%		
	子育て応援(0.5点)		23%	20%	23%		35%	35%		
	仕事と生活の調和(0.5点)		56%	42%	55%		58%	58%		

総合評価方式(工事)の実施状況について

対象工事...平成21年4月～22年1月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準			備考	結果 (基準改正後の特徴)	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	計			
新分野(1点)		40%	37%	39%		33%	33%			
同一市町村実績(2.5点)	76%	81%	75%	77%	88%	68%	85%	(特別簡易型は2点)	・同一市町村における工事实績、入札参加者の所在地の得点割合が高い。 ・消防団継続加入実績の内、3名以上の得点割合が低い。 ・災害応援協定の得点割合が増加している。 ・新卒・離職者の雇用実績、雇用の維持・確保とも得点割合は10%を超えている。 ・除雪・維持補修については、一般土木、舗装工事のみに限定した。 (特別簡易型は11点)	
入札参加者の所在地(2.5点)	81%	81%	60%	80%	85%	80%	85%	(特別簡易型は2点)		
ボランティア(2点)	66%	73%	53%	67%	78%	76%	77%	(特別簡易型は1点)		
消防団継続加入 (3名以上)(1.0点)	26%	33%	40%	28%	26%	21%	25%			
(1～2名)(0.5点)	34%	33%	13%	33%	34%	38%	35%			
選択項目	災害出動 (2.5点)	53%	59%	48%	54%	48%	17%	44%		配点を1.0点から2.5点に改正
	災害応援協定 (1.0点 2.5点)	14%	15%	8%	14%	25%	17%	24%		
	新卒・離職者の雇用実績 (2名以上雇用) (2.5点)					10%	12%	11%		} 新規設定項目 計 16%
	(1名雇用) (1.5点)					5%	7%	5%		
	雇用の維持・確保 (1名以上増加) (2.5点)					8%	12%	8%		} 新規設定項目 計 14%
	(同数) (1.5点)					7%	3%	6%		
	除雪・維持補修 (2.5点)	58%	60%	43%	58%	77%	83%	78%	一般土木工事、舗装工事のみに限定した。	
H21小計(17.5点)										
施工計画	(4) 施工計画(10点)		5.1点	4.8点	5.1点		6.1点	6.1点	入札参加者平均得点	
	H21小計(10点)									
標準型	(5) 技術提案 (10点又は20点)			4.6点 (1項目 10点)	8.5点 (1項目 20点)				入札参加者平均得点	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年11月の基準改正の前後で比較すると、平均落札率は基準改正後の方が高い。平均入札参加者数については、基準改正後の方が少なくなっている。この傾向は条件付一般競争入札の12月以降の入札結果にも見られる。 ・ 新たに評価項目に設定した「新卒・離職者の雇用実績」、「雇用の維持・確保」については、ともに10%を超える得点割合となっている。 ・ 基準改正後の入札件数は184件となっており、結果について十分な検証ができないことから、引き続き検証を継続する必要がある。 									

平成21年度における総合評価方式(測量等委託業務)の試行状況について

対象業務…平成21年4月～平成22年1月までに契約した業務(平成21年度起工分)

項 目	H21			備 考	結 果
	簡易型	標準型	計		
1. 対象件数(件)	116	14	130		
2. 落札率(%)				※条件付一般競争入札(価格競争)の平成21年4月～平成22年1月までの試行件数 114件	・条件付一般競争入札(価格競争)と比べてやや高い。
平 均	83.42	82.21	83.29		
最 高	96.69	99.04	99.04		
最 低	68.17	76.23	68.17		
※条件付一般競争入札(価格競争)の平均			82.21		
3. 入札参加者数(者)					・条件付一般競争入札と比べて少ない。
平 均	7.1	5.5	7.0		
最 大	16	10	16		
最 小	1	1	1		
※条件付一般競争入札(価格競争)の平均			11.6		
4. 加算点(点)	簡易 (21点)	標準 (30点)			・簡易型においては、平均値は満点の半分程度となっている。 ・標準型においては、平均点は満点の3分の2程度となっている。
平 均	11.71	19.57			
最 高	19.5	25.1			
最 低	1.5	11.5			
5. 価格逆転件数(件)				・価格が1位以外で落札者となった案件。	・逆転件数が60%である。
件 数	69	9	78		
逆転件数/ 試行件数(%)	59.5%	64.3%	60.0%		
6. 落札者の状況(件)	116	14	130	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div>52件</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div>65件</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div>78件 (価格逆転件数)</div> </div>	・価格が1位の者が落札者となった件数は52件(全体の40%)である。 ・加算点が1位の者が落札者となった件数は65件(全体の50%)である。 ・加算点が1位の場合、価格逆転する件数が多い。 ・価格、加算点ともに逆転する件数も多い。
価格:加算点=1位:1位	21 (18%)	4 (29%)	25 (19%)		
価格:加算点=1位:2位以下	26 (22%)	1 (7%)	27 (21%)		
価格:加算点=2位以下:1位	36 (31%)	4 (29%)	40 (31%)		
価格、加算点ともに1位以外	33 (28%)	5 (36%)	38 (29%)		

平成21年度における総合評価方式(測量等委託業務)の試行状況について

対象業務…平成21年4月～平成22年1月までに契約した業務(平成21年度起工分)

項目	H21			備考	結果	
	簡易型	標準型	計			
7. 評価基準価格を下回った件数(件)				<p>・入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。</p> <p>・評価基準価格を設定していなかった場合、落札者が逆転する件数及び割合。</p>	<p>・評価基準価格適用件数は平均で60%を超えている。</p> <p>・評価基準価格適用件数のうち落札者逆転となった割合は平均で約59%となっている。(全体130件のうち約39%)</p>	
件数	75	11	86			
件数/試行件数(%)	64.7%	78.6%	66.2%			
うち落札者逆転	44	7	51			
落札者逆転件数/件数(%)	58.7%	63.6%	59.3%			
8. 低入札価格調査の対象件数(件)				<p>・低入札対策として配置技術者(管理技術者または主任技術者)の専任を義務づけているが、対応困難の場合、落札者決定前の辞退を認めている。</p>		
a	基準を下回った低入札案件	22	4			26
	低入札件数/対象件数(%)	19.0%	28.6%			20.0%
b	辞退	18	2			20
	低入札調査実施	6	2			8
c	低入札調査で失格	0	0	0		
(b-c)/a	低入札案件のうち契約した件数の割合(%)	27.3%	50.0%	30.8%		
9. 評価項目毎の入札参加者得点割合(%)						
企業の技術力	同種業務実績(1.5点)	48%	73%	51%	<p>・入札参加者のうち94%が、同種業務または類似業務いずれかで得点している。</p>	
	類似業務実績(1点)	45%	27%	43%		
	○小計(1.5点)					
配置技術者の技術力	管理技術者/主任技術者(4点)	11%	36%	13%	<p>建築設計の場合8点</p> <p>満点(5点)獲得率は簡易型1%、標準型1%、全体1%</p>	
	担当技術者(5点)	11%	31%	13%		
	照査技術者/社内審査員(4点)	10%	36%	12%	建築設計の場合なし	
	○小計(13点)				※4点以上獲得率を得点割合としている。	
企業の貢献度	本店等所在地(1点)	46%	32%	45%	<p>・同一市町村における業務実績の得点割合が高い。</p>	
	同一市町村実績(1点)	68%	60%	67%		
	災害対応実績(1点)	30%	23%	29%		

平成21年度における総合評価方式(測量等委託業務)の試行状況について

対象業務…平成21年4月～平成22年1月までに契約した業務(平成21年度起工分)

項目	H21			備考	結果												
	簡易型	標準型	計														
企業の地域社会に対する貢献度	ボランティア(1点)	26%	20%	26%	・工事に比べ、全体的に得点割合の水準が低い。 ・消防団継続加入のうち、3名以上の得点割合が、1～2名の得点割合に比べ低い。												
	消防団継続加入(3名以上)(1.0点)	7%	9%	7%													
	消防団継続加入(1～2名)(0.5点)	18%	3%	17%													
	障がい者雇用(0.5点)	14%	20%	15%													
	子育て応援(0.5点)	2%	1%	2%													
	仕事と生活の調和(0.5点)	17%	1%	16%													
	○小計(6.5点)																
標準型	技術提案(9点)		6.4点	入札参加者平均得点													
業務種別毎の得点割合(%)	130件(地上測量9件、航空測量1件、地質調査17件、コンサル系調査7件、土木設計89件、建築設計7件)																
	発注種別	企業の技術力		配置技術者の技術力		企業の地域社会に対する貢献度										業務計画の実施方針	
		同種業務実績	類似業務実績	管理技術者/主任技術者	担当技術者	照査技術者/社内審査員	障がい者雇用	子育て応援	仕事と生活の調和	同一市町村実績	本店等所在地	災害対応実績	ボランティア	消防団3名以上	消防団1～2名	実施手順・工程計画	特定テーマ
	地上測量	50.9	45.6	7.0	10.5	5.3	3.5	1.8	17.5	73.7	54.4	42.1	47.4	14.0	33.3		
	航空測量	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	調査(地質調査)	83.0	14.4	18.3	10.5	19.0	19.6	0.0	27.5	66.7	25.5	13.1	13.7	2.0	10.5		
	調査(コンサル系)	73.9	26.1	13.0	30.4	13.0	39.1	4.3	8.7	82.6	17.4	14.5	17.4	8.7	8.7	50.0	0.0
	土木設計	41.7	50.5	12.3	12.5	12.0	14.4	2.6	14.1	65.9	50.0	31.3	27.8	8.0	17.4	30.4	10.1
	建築設計	45.2	45.2	12.9	25.8		0.0	0.0	0.0	80.6	51.6	51.6	12.9	0.0	6.5		
	全体	50.5	43.1	13.0	12.9	12.3	14.9	2.0	15.9	67.3	45.0	29.0	25.6	7.0	16.5	32.0	9.3
※ 管理技術者/主任技術者、照査技術者/社内審査員、実施手順・工程計画、特定テーマについては満点獲得率。担当技術者については4点以上獲得率。 ※ ()書きは建築設計の場合の配点。																	
備考	・ 配置技術者の技術力は、大手企業の入札参加割合が高い標準型の方が、得点割合が高い。 また、測量業務における得点割合が低いなど、業務種別により配置技術者の得点状況に差がある。																
	・ 消防団継続加入は、3名以上での得点率が低い。																
	・ 平成21年1月から試行を開始し、平成20年度の試行件数2件、今年度(1月末まで)の試行件数130件であり、今後さらに試行を進め、検証をしていく必要がある。																